

問一

次の文章は、一年生の児童が書いた日記です。かなづかいについて、見直すことにしました。間違っているかなづかいの言葉を十個探して、線を引き、線の右側に正しく直して書きましょう。

(例) ゾウ ^{ゾウ}が ^{えさを} ^{えさ}お ^{ゾウ} ^{えさ}食べる。

七月十五日 水曜日

一じかん目は たいくでした。あと、二じかん目は ぼくの
すきな こくごでした。ぼくは、にっちよくなので、

「きょうつけ。」

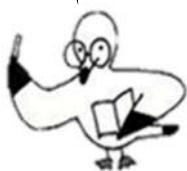
と ごおれいを かけました。先生が、「おうかみのおおさま」と
いう本を よんでくれました。かんどうてきな おはなしだった
ので、ぼくは、ちっと 耳をかたおけていました。きょうしつは、
あたたかな ふいんきになりました。そして、そのあと、ぜい
いで 音どくをしました。きずいたら、ゆうきくんが、すごく お
おきな こえで よんでいました。先生が、
「あしたは、おはなしの つづきを よみましょう。」
と ゆっていました。とても たのしみです。



「読んでみよう」

○ 古典では、現代のかなづかいと異なった表し方をします。かなづかいの違いに気を
つけながら、次の古典の文章「いろは歌」を読んでみましょう。

「いろは歌」は、昔のかな文字を一回ずつ使って作られているよ。
現在の五十音表（あいうえお表）みたいだね。



昔のかなづかい

いろはにほへと
ちりぬるを
わかよたれそ
つねならむ
うゐのおくやま
けふこえて
あさきゆめみし
ゑひもせす

現代の読み方

色はにおえど
散りぬるを
我が世たれぞ
常ならん
有為の奥山
今日超えて
浅き夢見じ
酔いもせず

「現代の読み方」を繰り返し
読んで、親しもう。
暗唱できたらずい。



【現代語訳】

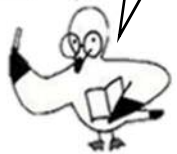
色美しく咲き誇っている花も
いつかは散ってしまふ。
私たちがこの世の誰が
永久に変わらないことがあるだろうか。
いるいるなことがある人生の深い山を
今日も超えていくのだが
浅い夢など見ることはしない。
心を惑わされもしない。

「やってみよう」

○ 次のように、仲間の言葉を集めてみましょう。

学校図書館にある図鑑や百科事典、インターネットを使って調べてみよう。いろいろな言葉が見つかって楽しいよ。

書くときは習った漢字を使おうね。



教科

の仲間 ↓

Empty box for collecting words related to '教科'.

色

の仲間 ↓

Empty box for collecting words related to '色'.

季節

の仲間 ↓

Empty box for collecting words related to '季節'.

天気

の仲間 ↓

Empty box for collecting words related to '天気'.

家族や親せき

の仲間 ↓

おじ おば

雲

の仲間 ↓

入道雲 うろこ雲

二十四節気

の仲間 ↓

立春 秋分

月の異名

の仲間 ↓

睦月(二月) 如月(二月)

国名の漢字一文字表記

の仲間 ↓

米(アメリカ)

の仲間

↓

Empty box for collecting words related to 'の仲間'.

最後の□は自分で言葉を決めよう。

